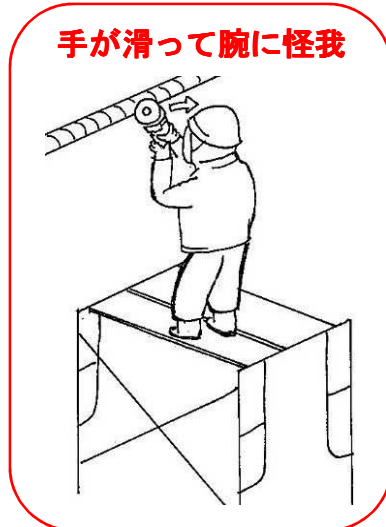
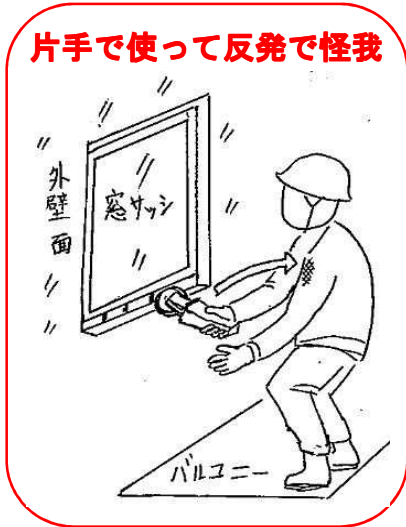


— 砥石の防護カバーは絶対はずすな —



ベビーサンダー(ディスクグラインダー)はどここの現場でも日常的に使用する工具ですが、取扱い次第ではこの災害のようにすぐ怪我に繋がる工具でもあります。容易に扱える反面、**防護カバーを外したり不安定な足元で使用したり、片手で使用したりと安易な取扱いをしてしまいがちですが** →  
ベビーサンダーはいったん怪我すれば深い傷を負ってしまうことを忘れてはいけません **“カバーは外すな!”**



**注意！ 砥石には許容回転数があることを知っていますか？**



**大きい径の砥石ほど許容回転数は低くなるので8,000回転/分の砥石を、12,000回転/分のベビーサンダーに間違っ取り付けければ、砥石は耐え切れず砕けてしまいます**  
※砥石の交換は特別教育を受けている者でなければやってはいけません



そして、もうひとつ気を付けてもらいたいの**コレ** 付属のハンドルです→**意外と使われていません**  
狭い場所での作業や、ハジかれやすい材料を加工するときは、しっかり支えるためにも使いましょ

新発田建設の安全ルール

§. ベビーサンダーの防護カバー(覆い)は、「砥石が割れたときの防護」と「砥石が体に触れないための防護」そして「落としたときに砥石の回転で走りだすことの防止」という、3つの事故防止を目的としている「安全装置」です、取り外してはいけません。  
ベビーサンダーが危険な工具である大きな理由は**“スイッチを切らない限り回り続ける”**ことです、作業者を怪我させようが下に落ちようが物に当たろうが、回り続ける危険な工具であることを忘れてはいけません、安全装置は絶対に解除するべきではありません。